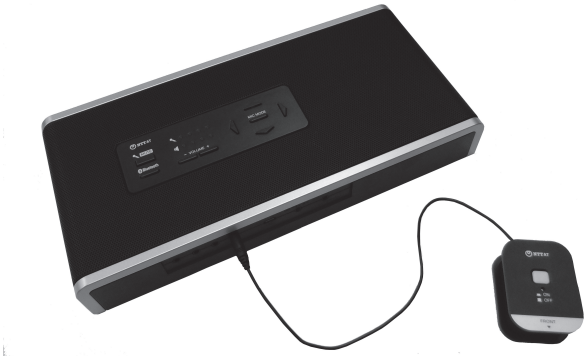
NTT AT

会議用マイク・スピーカー

R-Talk 1500

取扱説明書

第1版　　2014年12月1日



NTTアドバンステクノロジ株式会社

技術基準適合認証品

目　次

安全にお使いいただくために……4
セットの確認……9
セットの内容……9
オプション品……10
特長……11
各部の名称および操作方法……14
各部の名称（上面）……14
各部の名称（前面）……15
各部の名称（背面）……15
各部の名称（底面）……16
電池を入れる……17
ランプ名称とランプ表示……18
・ランプ名称 ……18
・ランプ表示 ……18
音量を調整する……20
・スピーカー音量を調整する ……20
・マイクをミュートにする ……21
・送話音量を調整する ……22
・ライン／マイクアウトのレベルを切り替える ……23
・ハンドセット切替スイッチを切り替える ……24
動作を切り替える……25
パソコンとUSB接続して使用する ……28
パソコンの設定を確認する（Windows 8/Windows 8.1）……29
・設定の確認 ……29
パソコンの設定を確認する（Windows 7/Windows Vista）……30
・設定の確認 ……30
スマートフォンや携帯電話とBluetoothで接続して使用する ……31
Bluetooth機器とペアリング（登録）操作をする ……31
Bluetooth機器と接続する／切断する ……32
・接続する ……32
・切断する ……32
スマートフォンや携帯電話とケーブルで接続して使用する……33
テレビ電話装置とケーブルで接続して使用する……34
電話機と接続して使用する……35

使用方法…… **36**
ハンズフリーで通話する…… 36
・会議を行う …… 36
・3地点で会議を行う …… 37
・電話会議とWeb会議を混在した会議を行う …… 38
マイクの収音範囲を設定する…… 39
・マイクモードを切り替える …… 40
・収音範囲を設定する …… 40
複数台を接続して使う…… 41
・複数台をカスケード接続する …… 41
複数台を設置するときの注意点…… 43
拡張マイクを接続して使う…… 45
・拡張マイクを接続する …… 45
・拡張マイクをON／OFFする…… 46
・拡張マイクの収音範囲 …… 46
拡張スピーカーを接続して使う…… 47
・拡張スピーカーを接続する …… 47
通話を録音する…… 48
・録音装置を接続する …… 48
お買い求め時の設定に戻す(初期化)…… **49**
ファームアップ機能…… **50**
仕様…… **51**

©2014 NTT Advanced Technology Corporation. All Rights Reserved.
R-Talkは、NTTアドバンステクノロジ株式会社の商標です。
本取扱説明書の記載内容についての版権は、NTTアドバンステクノロジ株式会社に帰属します。
許可なく複製・改変・転用することはできません。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書は、http://www.ntt-at.co.jp/product/rt1500/download.htmlよりダウンロードしてください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

注意
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売店へお申しつけください。
- ●本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- ●記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので、詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- ●使用済の電池は貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

Microsoft® Windows® Vista、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8.1は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

⚠危険

●乾電池やニッケル水素電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
●ニッケル水素電池の充電は、指定された充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
●乾電池やニッケル水素電池は、プラス(+)・マイナス(−)の向きが決められています。電池の向きを確かめて正しく入れてください。間違った向きで入れると、電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
●乾電池やニッケル水素電池を使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
・火の中に投入したり、加熱しない。
・直接はんだ付けしない。
・プラス(+)・マイナス(−)を針金などの金属類で接触しない。
・外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。
・水や海水に浸けたり、ぬらさない。
●乾電池やニッケル水素電池を分解、改造しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

設置について

⚠警告

●本商品や電源アダプタのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
●本商品は、次のような場所で設置・使用しないでください。
・医療電気機器に近い場所。
・自動ドア、火災報知器などの自動制御機器に近い場所。
・心臓ペースメーカの装着部位から約30 cm以内の位置。

お取り扱いについて

⚠警告

●電源アダプタは、AC100 V～240 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタは、電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタは必ず専用のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関してはお買い求めになった販売店にご相談ください。
●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、煙が出なくなるのを確認し、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
●万一、本商品を落としたり、本体を破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタに異物や水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はお買い求めになった販売店にご依頼ください(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)。
●電源アダプタコードやUSBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだらお買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。
●電源アダプタコードやUSBケーブルが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜いて、お買い求めになった販売店に修理をご依頼ください。
●本商品や電源アダプタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●本商品をお手入れするときは、電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
●本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品の開口部などから内部に金属類や燃えやすい物などの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、お買い求めになった販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
●本商品を移動するときは、電源アダプタやUSBケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタやUSBケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源アダプタコードやUSBケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
●本商品や電源アダプタコード、USBケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
●乾電池やニッケル水素電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

設置について

⚠注意

●本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
●屋外に渡る配線は行わないでください。特に建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠注意

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタ、USBケーブルをそれぞれ電源コンセントやUSBポートから抜き、乾電池やニッケル水素電池を外してください。
●本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
●本商品の電源を入／切するときやUSBケーブル、ハンドセットコード、携帯電話ケーブルを抜き差しするときは、耳をスピーカーから離してください。スピーカーからの大音量により人的傷害が発生する可能性があります。
●通話中に本商品の電源を切ったり入れたりしないでください。通話中にUSBケーブルやハンドセットコード、携帯電話ケーブル、拡張マイクのケーブルを抜き差ししないでください。本商品や通話相手のスピーカーからの大音量により人的障害が発生する可能性があります。
●乾電池やニッケル水素電池は正しくお使いください。以下のことを必ず守ってください。
・乾電池は、使用推奨期限内の単3形アルカリ乾電池をお使いください。
・ニッケル水素電池は単3形をお使いください。
・新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池、乾電池とニッケル水素電池を混用しないでください。
・消耗した乾電池は、すぐに交換してください。
・乾電池やニッケル水素電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。

設置について

STOP お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
●硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
●雷などにより本商品が破損することを防止するために、市販の雷サージ対応製品を接続してご使用ください。

お取り扱いについて

STOP お願い

●電源を再度入れる場合は、電源を切った状態から5秒以上経ったあとに行ってください。
●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
●本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
●ハンズフリー通話のとき、以下の点に注意してください。
・マイクの前には、物などを置かない。

・マイクを手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
・以下のような場合、スピーカーからの音が途切れることがあります。
　・相手のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき。
　・相手と同時に話し始めたとき。
　・周囲の騒音が大きい場所に置いたとき。

●本商品は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

電波干渉について

本商品の無線方式には、2.4 GHz(ギガヘルツ)の周波数帯の電波を利用する、Bluetooth を用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器(電子レンジ、無線LAN など)が使用していますので、電波の干渉により、お話し中に音声が途切れたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本商品は電波干渉の影響を受けにくい方式としていますが、下記の内容に注意してください。

●電子レンジなどを使用中に、近くで本商品を使用すると、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。本商品は電子レンジなどから離して設置してください。(目安：約3 m以上)
●ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3 m以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。
●無線LAN機器(ルータ、AV機器、防犯機器など)を使用している環境で本商品を使用すると、音声が途切れたり、接続が切断されたり、無線LAN機器の動作に影響を与えることがあります。本商品を、無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。
●その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。
　・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
　・工場や倉庫などの物流管理システム
　・万引き防止システム(書店やCDショップなど)
　・鉄道車両や緊急車両の識別システム
　・ワイヤレスAV機器(テレビ、ビデオ、パソコンなど)
　・火災報知器
　・マイクロ波治療器
　・自動ドア、自動制御機器
　・アマチュア無線局
　・その他、Bluetooth対応機器やVICS(道路交通網システム)など
●本商品は、2.400 ～ 2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別装置の帯域を回避不可で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は 10 mです。
　本商品には、それを示す右のマークが貼り付けられています。

※Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、使用許諾契約の下で当社にライセンスされています。

電波に関するご注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

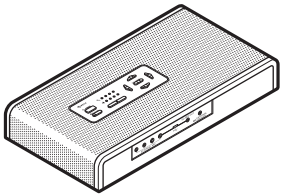
●本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
●万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにBluetoothでの接続を中止したうえ、お買い求めになった販売店へご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
●その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

セットの確認

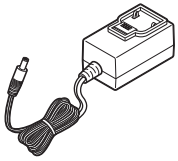
セットの内容

ご使用の前に、セット内容をご確認ください。

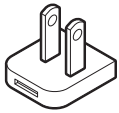
●本体 …… 1台



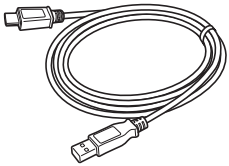
●電源アダプタ
（コード約1.5 m）…… 1個



●電源アダプタプラグ …. 1個



●USBケーブル
（約3 m）…… 1本



●拡張マイク
（コード約3 m）…… 1個

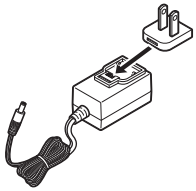
●ハンドセットコード
（約3 m）…… 1本

●かんたん操作ガイド …. 1部
●保証書…… 1枚

セットに足りないものがあった場合は、お買い求めになった販売店へご連絡ください。

お知らせ

●電源アダプタの使いかた
電源アダプタプラグを電源アダプタにセットし、カチッと電源アダプタプラグがロックされるのを確認してからご利用ください。



オプション品

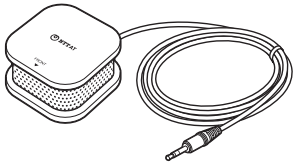
オプション品については、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

●R-Talk 用拡張マイク（ミュート付） RT-OPT-MIC2

R-Talk 1500の付属品です。R-Talk 800EX/PCでもご利用できますが、拡張マイクのマイクボタンはR-Talk 800EX/PCでは利用できません。
本商品には、拡張マイクを４個まで接続できます。

●R-Talk 用拡張マイク RT-OPT-MIC1

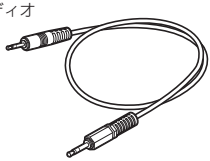
R-Talk 800EX/PCの付属品です。R-Talk 1500でもご利用できます。
本商品には、拡張マイクを４個まで接続できます。



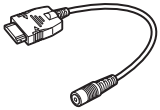
●R-Talk 用携帯電話ケーブルセット RT-OPT-CBL1

携帯電話ケーブルは、ケーブル５本がセットになっています。ご利用のスマートフォンや携帯電話に合わせてお使いください。

3.5 mmプラグ⇔2.5 mm
プラグステレオオーディオ
ケーブル
（約１m）（１本）

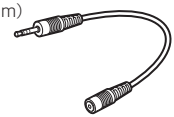


2.5 mmジャック⇔
docomo/SoftBank外部接続端子ケーブル
（約10 cm）（１本）

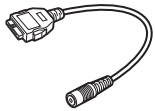


2.5 mmジャック⇔携帯電話
イヤフォンマイク接続端子ケーブル
（約10 cm）（１本）

2.5 mmジャック⇔3.5 mm
４極プラグ（スマートフォン用）
ケーブル
（約10 cm）
（１本）



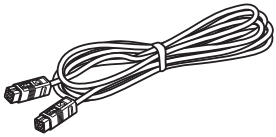
2.5 mmジャック⇔
au外部接続端子ケーブル
（約10 cm）
（１本）



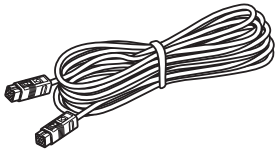
●カスケード接続ケーブル

本商品を複数台接続する場合は、オプション品のカスケード接続ケーブルを必要数ご用意ください。
例えば、本商品３台をカスケード接続する場合は、カスケード接続ケーブルが２本必要です。
５m品と10 m品があります。（☛P41）

カスケード接続ケーブル（約5m） RT-OPT-CA05



カスケード接続ケーブル（約10m） RT-OPT-CA10



お知らせ

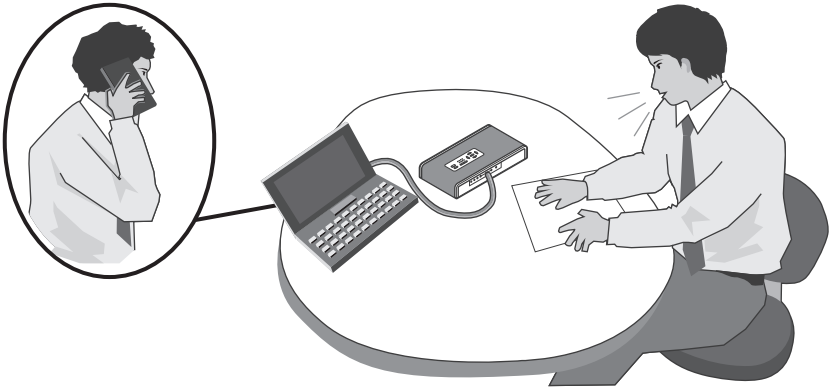
- R-Talk用携帯電話ケーブルセットRT-OPT-CBL1は、R-Talk 800EX/PCと共用です。
- カスケード接続ケーブルは、RealTalk R7と共用です。
- 本商品には、R-Talk用拡張マイク（ミュート付） RT-OPT-MIC2とR-Talk用拡張マイクRT-OPT-MIC1を組み合わせて最大４台まで接続が可能です。

特長

本商品は、パソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機など、さまざまな通信機器と接続してハンズフリー通話を行う装置です。
NTT研究所の最先端技術を利用した、さまざまな機能を搭載しています。

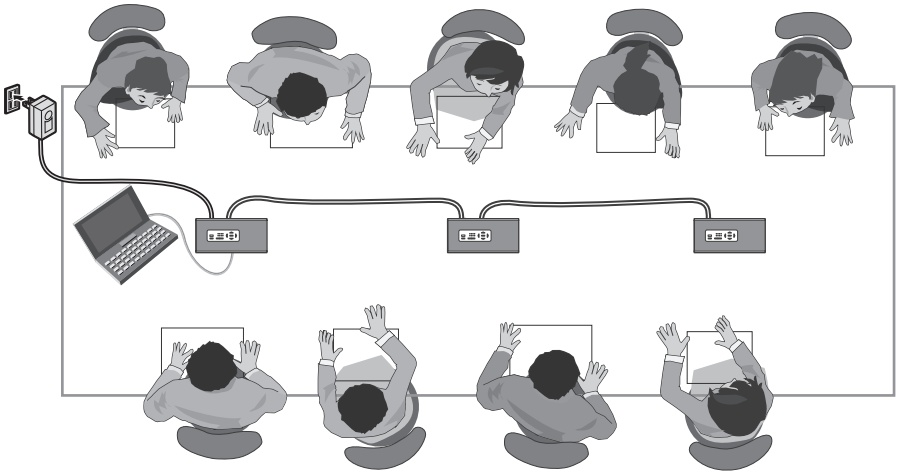
●パソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機によるハンズフリー通話

・パソコンを利用したWeb会議システムのスピーカー、マイクとして使用できます。パソコンとはUSBケーブルでつなぐだけで使用できます。デバイスのドライバソフトウェアのインストールは必要ありません。
・スマートフォンや携帯電話と接続して、電話回線のない場所でも電話会議を行えます。
・電話機と接続して簡単に電話会議を行えます。電話機とはハンドセットコードで接続するため、電話回線の種類にかかわらず使用できます。



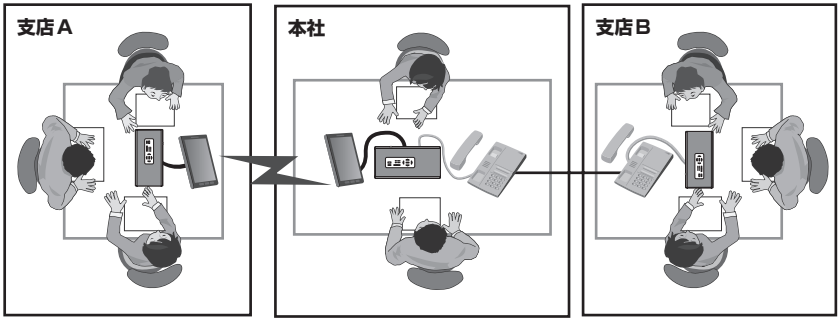
●複数台を接続して広い会議室に対応

広い会議室で利用する場合は、本商品を最大6台までカスケード接続して設置することができます。



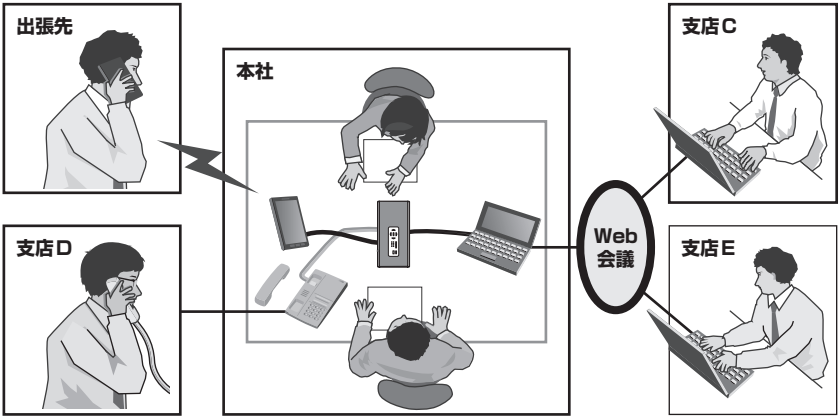
●3地点電話会議

スマートフォンや携帯電話、電話機を利用して、3地点電話会議ができます。



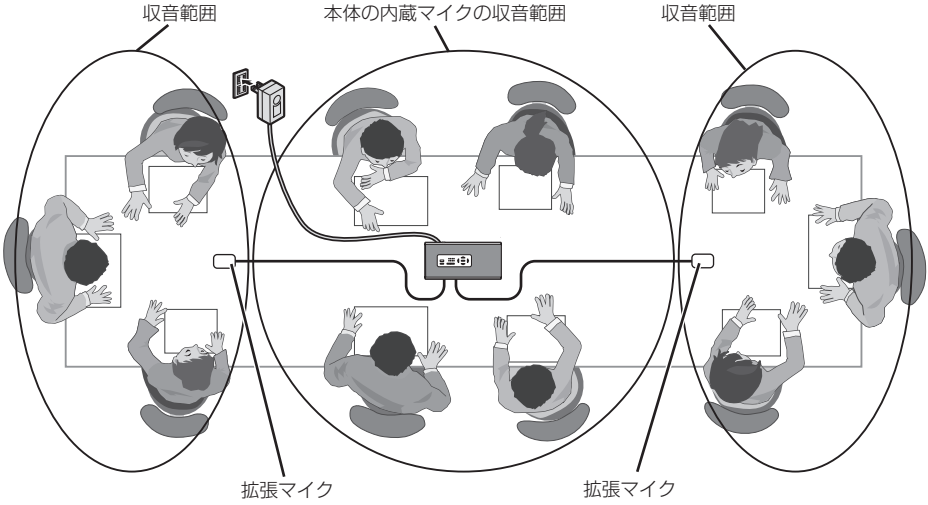
●パソコン接続、スマートフォン接続、タブレット接続、携帯電話接続、電話機接続の同時利用

パソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機を接続して、電話会議とWeb会議を混在させた会議ができます。



●収音範囲

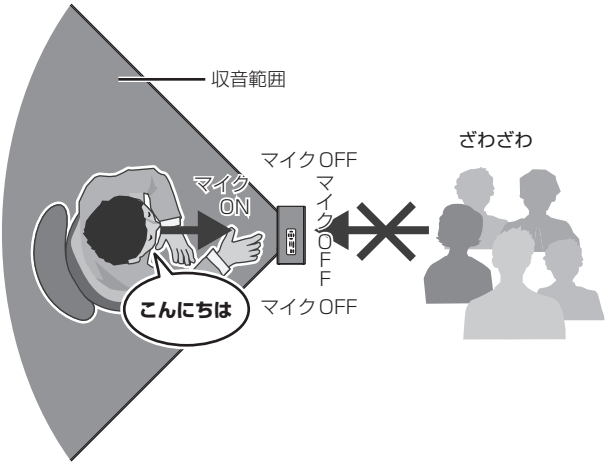
本体の内蔵マイクの収音範囲は約３ m、拡張マイクの収音範囲は前方 180°、約３ mです。



●マイクモード

４つの方向でお話している人の声を自動で検知し収音する「AUTO」(自動追尾モード)と手動で設定する「MANUAL」(手動設定モード)を搭載しています。
お話しする人がいる方向のマイクのみをONにできるので、不要な雑音を収音しないようにすることができます。

※収音範囲設定ボタンによるマイクの「ON」/「OFF」は、マイクモードを「MANUAL(手動設定モード)」にしたときに設定できます。(☛P39)

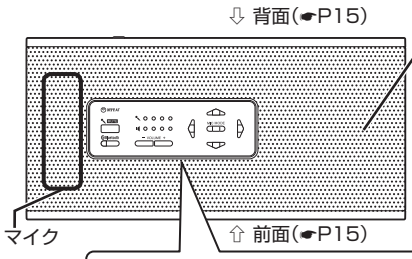


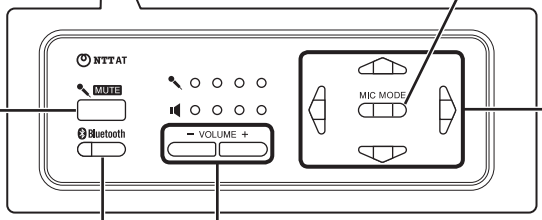
お知らせ

●本商品には音質を改善する機能はありません。スピーカーからの音質は、ご使用になる回線の品質やパソコンの通信アプリケーション、通信機器に依存します。
●本商品には通信機能はありません。Web会議システムやテレビ電話装置でご使用になるには、通信アプリケーションがインストールされたパソコンまたは通信機器に接続する必要があります。詳しくは、ご使用の通信アプリケーションや通信機器の取扱説明書を参照してください。
●ソフトウェアエコーキャンセラまたは自動音量制御(AGC)機能が搭載されているWeb会議アプリケーションやVoIPソフトをお使いの場合は、本商品のエコーキャンセラが正常に動作しないことがあります。Web会議アプリケーションやVoIPソフトは、これらの機能をOFFに設定できるものをご利用のうえ、設定をOFFにしてお使いください。

各部の名称および操作方法

各部の名称(上面)





スピーカー

マイクモード切替ボタン(MIC MODE)
「AUTO」(自動追尾モード)か「MANUAL」(手動設定モード)に切り替えます。お買い求め時は「AUTO」(自動追尾モード)に設定されています。
・マイクモード切替ボタンのランプ(マイクモードランプ)について(☛P18、P39)

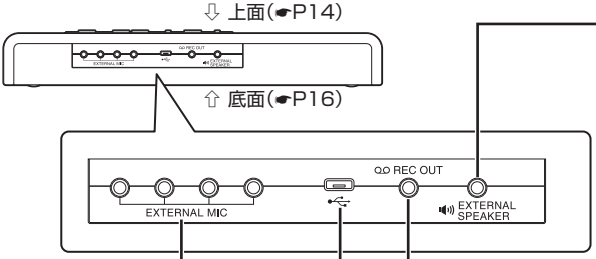
収音範囲設定ボタン
前面／背面／左／右のマイクの「ON」/「OFF」を切り替えて、収音範囲を設定します。(☛P40)
・収音範囲設定ボタンのランプ(エリア収音ランプ)について(☛P18)

スピーカー音量調節ボタン(VOLUME)
12段階に調整できます。お買い求め時は「6」(センター)に設定されています。
音量調整方法については、「スピーカー音量を調整する」(☛P20)を参照してください。

Bluetoothペアリングボタン(Bluetooth)(☛P31)
スマートフォンや携帯電話とBluetoothで接続します。
・Bluetoothペアリングボタンのランプ(Bluetoothランプ)について(☛P19)

マイクミュートボタン(MUTE)
マイクを「OFF」にするときに押します。もう一度押すとマイクが「ON」になります。本商品の電源を入れ直したときは、マイクミュートは解除されます。
複数台接続した場合でも、拡張マイク含めすべてのマイクが同時に「OFF」になります。(☛P21)

各部の名称(前面)



拡張スピーカー端子(EXTERNAL SPEAKER)(☛P47)
拡張スピーカーを接続するときに使用する出力端子です。

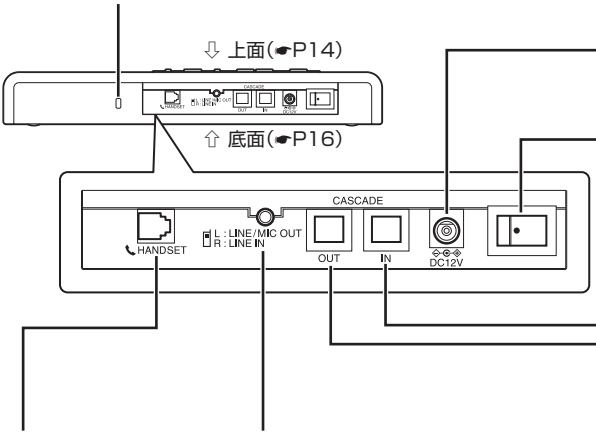
録音端子(REC OUT)(☛P48)
通話録音をするときに使用する出力端子です。

USBポート(☛P28)
パソコンのUSBポートと接続して、パソコンと本商品の間の音声を入出力します。

拡張マイク端子(EXTERNAL MIC)(☛P45)
拡張マイクを接続するときに使用する端子です。(4端子入力)

各部の名称(背面)

セキュリティスロット
ケンジントンセキュリティロックに対応します。



電源アダプタ接続端子
電源アダプタを接続します。

電源スイッチ(POWER)
電源を入/切します。

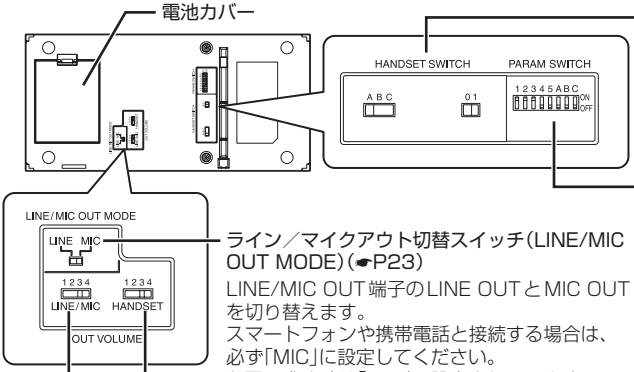
CASCADE IN端子(☛P41)
本商品を複数台接続するときに使用する入力端子です。

CASCADE OUT端子(☛P41)
本商品を複数台接続するときに使用する出力端子です。

ハンドセットコード差込口(HANDSET)(☛P24)
電話機のハンドセットコードまたは、付属のハンドセットコードを差し込みます。

LINE/MIC OUT端子/ LINE IN端子(☛P23)
LINE/MIC OUT端子は、こちら側の音声を通信相手に出力する端子です。
LINE IN端子は、通信相手から送られた音声を本商品に入力する端子です。
スマートフォン、携帯電話、テレビ電話装置またパソコンの音声入出力端子と接続します。

各部の名称(底面)



ハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH)(☛P24)
A/B/C、0/1で、ハンドセットのコネクタのピン配置を設定します。

動作切替スイッチ(PARAM SWITCH)(☛P25)
各種の動作を切り替えます。お買い求め時は「1:ON 2:ON 3:ON 4:OFF 5:OFF A:OFF B:OFF C:OFF」に設定されています。

ライン／マイクアウト切替スイッチ(LINE/MIC OUT MODE)(☛P23)
LINE/MIC OUT端子のLINE OUTとMIC OUTを切り替えます。
スマートフォンや携帯電話と接続する場合は、必ず「MIC」に設定してください。
お買い求め時は「MIC」に設定されています。

ハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)(☛P22)
HANDSET OUTの音量(送話音量)を切り替えます。4段階(「1」(特小)／「2」(小)／「3」(標準)／「4」(大))に調整できます。お買い求め時は「3」(標準)に設定されています。

ライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)(☛P22)
LINE OUTまたはMIC OUTの音量(送話音量)を切り替えます。4段階(「1」(特小)／「2」(小)／「3」(標準)／「4」(大))に調整できます。お買い求め時は「3」(標準)に設定されています。

STOP お願い

●次のスイッチは電源を切ってから切り替えてください。
- ハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)
- ライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)
- ライン／マイクアウト切替スイッチ(LINE/MIC OUT MODE)
- 動作切替スイッチ(PARAM SWITCH) A～C

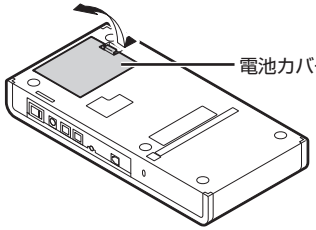
●次のスイッチは電源を切らなくても切り替え可能です。
- ハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH)
- 動作切替スイッチ(PARAM SWITCH) 1～5

電池を入れる

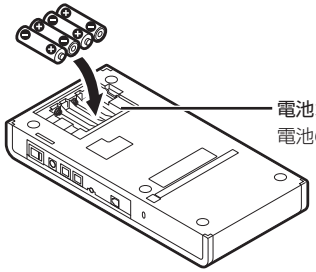
電池ホルダ

電池カバーを開け、市販の単3形アルカリ乾電池4本または単3形ニッケル水素電池4本を入れます。

● 電池カバーの開けかた

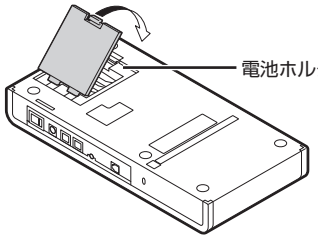


● 電池を入れる



電池の向きを確かめて正しく入れてください。

● 電池カバーの閉めかた



STOP お願い

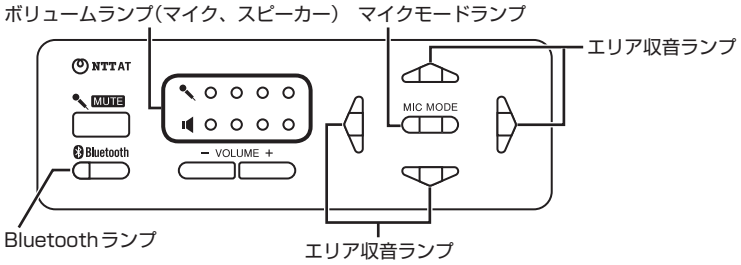
- ●電池交換する場合は、電源スイッチ(POWER)を「切」の状態にして行ってください。
- ●電池残量が少なくなると、ボリュームランプ(マイク、スピーカー)のすべてが紫色で点滅します(電池残量低下警報表示)。
- ●電池残量低下警報表示開始から電池がなくなるまでの時間は、ご使用の電池により異なりますので、お早めに電池交換してください。

ワンポイント

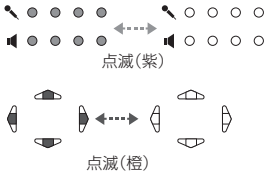
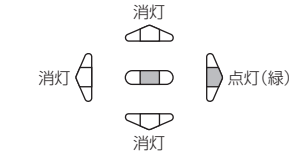
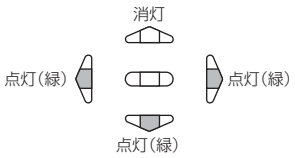
- ●新品の単3形アルカリ乾電池または満充電の単3形ニッケル水素電池で約120分間通話ができます(スピーカー音量「6」(センター)の場合)。
- ●電池の残量がなくなると、本商品は動作しなくなります。
- ●単3形アルカリ乾電池または単3形ニッケル水素電池はお客様でご用意ください。
- ●本商品には充電機能はありません。充電は、ご使用のニッケル水素電池の充電器で行ってください。
- ●電源アダプタを使用した場合、電源アダプタの供給電源で動作します。

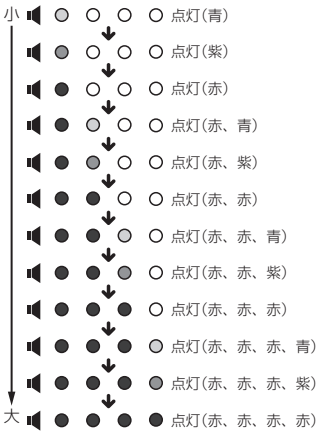
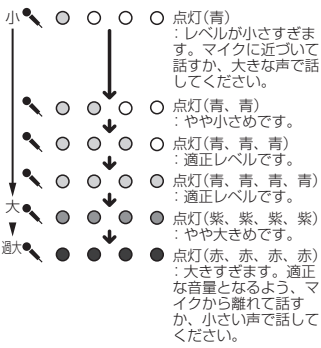
ランプ名称とランプ表示

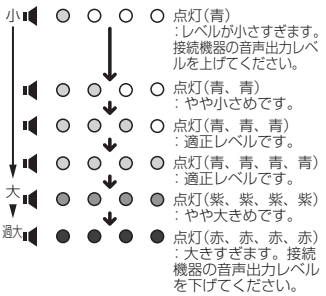
■ランプ名称



■ランプ表示

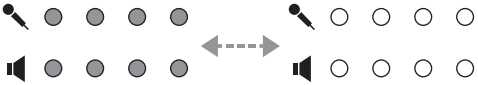
状　態	ランプのつきかた(色)
電源を入れたとき	ボリュームランプとエリア収音ランプが点滅します。 
待機時	「AUTO」(自動追尾モード)に設定している場合 お話しする人がいる方向のランプが点灯します。  「MANUAL」(手動設定モード)に設定している場合 • エリア収音ランプは、マイク「ON」のときは点灯(緑) • エリア収音ランプは、マイク「OFF」のときは消灯 

状　態	ランプのつきかた(色)
スピーカー音量を調整しているとき	ボリュームランプ(スピーカー)が点灯します。 
こちらが話しているとき(送話音量)	ボリュームランプ(マイク)の左から送話音量を表示します。 

状　態	ランプのつきかた(色)
相手側が話しているとき(スピーカーレベル)	ボリュームランプ(スピーカー)の左からスピーカーレベルを表示します。 
マイクOFF	消灯　※該当マイクのみ
マイクミュート	 点滅(赤)
マイクON	点灯(緑)　※該当マイクのみ
マイクONでお話ししているとき	点灯(橙)　※該当マイクのみ
マイクモード	「AUTO」： 点灯(緑) 「MANUAL」： 消灯
Bluetooth未接続	消灯
Bluetooth接続中	点灯(青)
Bluetoothペアリング中	 点滅(青)

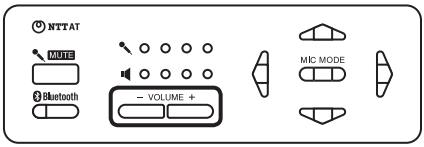
ワンポイント

●電池で動作中に電池電圧が低下すると
ボリュームランプが点滅(点灯⇔消灯を繰り返す)します。



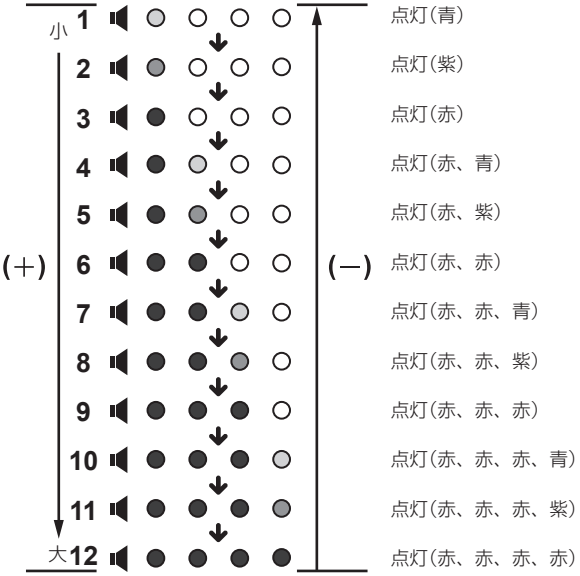
音量を調整する

■スピーカー音量を調整する



スピーカー音量調節ボタン(ボリュームDOWNボタン、ボリュームUPボタン)を押して、スピーカー音量を調整することができます。
1～12の12段階に調整できます。お買い求め時は「6」(センター)に設定されています。
• スピーカー音量を大きくするときはボリュームUPボタン(VOLUME ＋)を押します。
• スピーカー音量を小さくするときはボリュームDOWNボタン(VOLUME －)を押します。

スピーカー音量が変わると、ボリュームランプに設定状態が約2秒間表示されます。
ボリュームランプの表示で現在のスピーカー音量を確認してください。



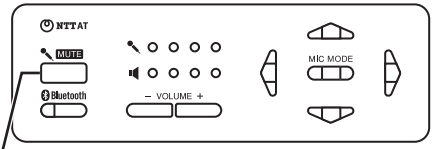
お知らせ

●電源を切ると、スピーカー音量の設定はお買い求め時の「6」(センター)に戻ります。

STOP お願い

●本商品に接続したパソコンやスマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機、テレビ電話装置などの受話音量は、適正な音量となるように調整してご利用ください。

■マイクをミュートにする



① マイクミュートボタン(MUTE)を押す。
こちら側の声が相手側に聞こえなくなります。
4個のエリア収音ランプが、赤で点滅(点灯(赤)⇔消灯を繰り返す)します。

【ミュート中】

② 元に戻すには、もう一度マイクミュートボタン(MUTE)を押す。
4個のエリア収音ランプが、消灯します。

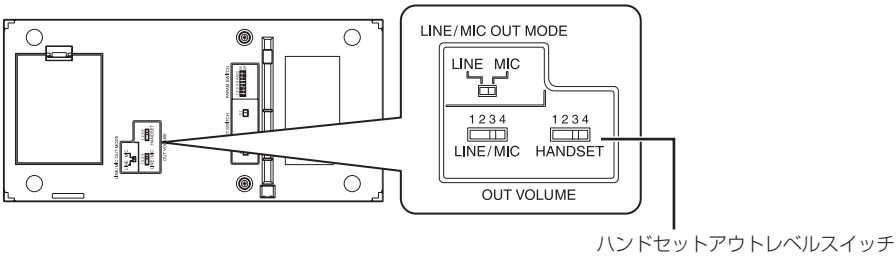
お知らせ

- マイクミュート中は、収音範囲設定ボタンによるマイクの「ON」/「OFF」はできません。
- 本商品の電源を入れ直したときは、マイクミュートは解除されます。
- 本商品を複数台接続していて、親機のミュート連動切替機能が「ON」(連動)の場合は、親機または子機のマイクミュートボタン(MUTE)を押すと、親機とすべての子機がマイクミュートします。元に戻すには、もう一度親機または子機のマイクミュートボタン(MUTE)を押します。
- マイクミュートボタン(MUTE)を押したあと、約1秒間はマイクミュートボタン(MUTE)を受け付けません。

■送話音量を調整する

＜電話機を接続している場合＞

本商品の底面にあるハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)で、送話音量を調整することができます。
送話音量は「1」(特小)、「2」(小)、「3」(標準)、「4」(大)の４段階に切り替えられます。お買い求め時は「3」(標準)に設定されています。
お話しになる声の大きさと本体との距離は、ボリュームランプで確認できます。



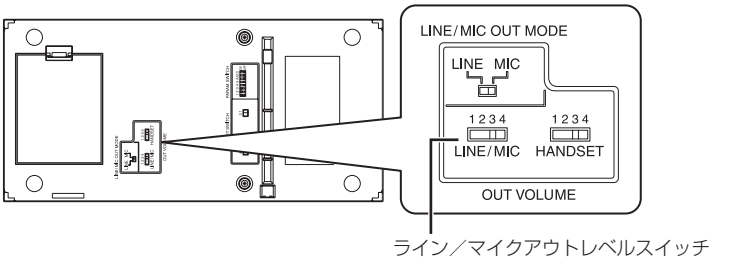
STOP お願い

●ハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)の切り替えは、本商品の電源を切ってから行ってください。

●ハウリング(ピーと大きな音が鳴る)が生じる場合は「1」(特小)または「2」(小)に切り替えてください。

＜スマートフォンや携帯電話、テレビ電話装置などを接続している場合＞

本商品の底面にあるライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)で、送話音量を調整することができます。
送話音量は「1」(特小)、「2」(小)、「3」(標準)、「4」(大)の４段階に切り替えられます。お買い求め時は「3」(標準)に設定されています。
お話しになる声の大きさと本体との距離は、ボリュームランプで確認できます。

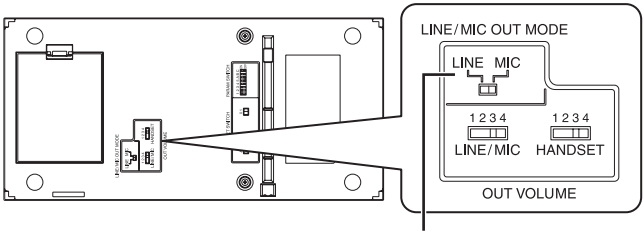


お知らせ

●Bluetooth対応機器やパソコンを接続して利用される場合は、接続される機器で音量調整をしてください。

■ライン／マイクアウトのレベルを切り替える

本商品の底面にあるライン／マイクアウト切替スイッチ（LINE/MIC OUT MODE）で、「LINE」／「MIC」を切り替えることができます。
お買い求め時は「MIC」に設定されています。



ライン／マイクアウト切替スイッチ

＜スマートフォンや携帯電話を接続している場合＞

●スマートフォンや携帯電話と接続している場合は、「MIC」に切り替えてください。

＜テレビ電話装置を接続している場合＞

下記のように切り替えてください。

●テレビ電話装置の音声入力端子がマイク入力端子のときは、「MIC」に切り替えます。

●テレビ電話装置の音声入力端子がライン入力端子のときは、「LINE」に切り替えます。

＜その他＞

本商品のLINE/MIC OUT 端子／ LINE IN 端子とパソコンの音声入出力端子を接続している場合は、下記のように切り替えてください。

●パソコンの音声入力端子がマイク入力端子のときは、「MIC」に切り替えます。

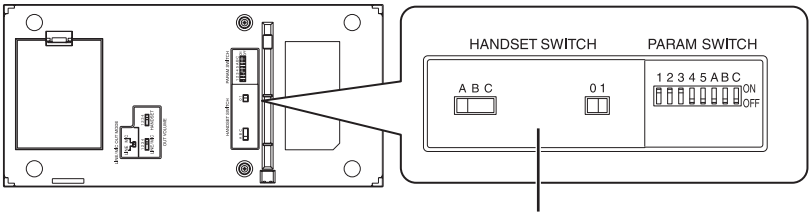
●パソコンの音声入力端子がライン入力端子のときは、「LINE」に切り替えます。

お知らせ

●「MIC」は、「LINE」よりレベルが約40dB小さい値となっております。ご利用の機器に合わせて調整してください。

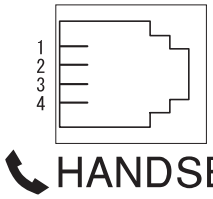
■ハンドセット切替スイッチを切り替える

本商品の底面にあるハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH) A/B/C、0/1で、ハンドセットコード差込口(HANDSET)のピン配置を設定します。
お買い求め時は「A、0」に設定されています。



ハンドセット切替スイッチ

●ハンドセットコード差込口(HANDSET)のピン配置



T : 送信(本商品→電話機)　R : 受信(電話機→本商品)

HANDSET SWITCH		ピン番号				
		1	2	3	4	
A	0	T	R	R	T	お買い求め時
B		R	R	T	T	
C		R	T	R	T	
A	1	R	T	T	R	
B		T	T	R	R	
C		T	R	T	R	

STOP お願い

●次のスイッチは電源を切ってから切り替えてください。
- ハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)
- ライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)
- ライン／マイクアウト切替スイッチ(LINE/MIC OUT MODE)
- 動作切替スイッチ(PARAM SWITCH) A ～ C

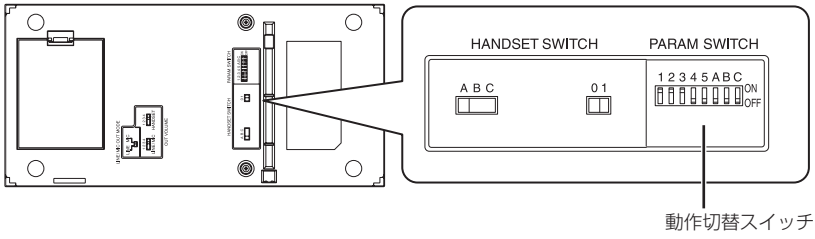
●次のスイッチは電源を切らなくても切り替え可能です。
- ハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH)
- 動作切替スイッチ(PARAM SWITCH) 1 ～ 5

動作を切り替える

動作切替スイッチ(PARAM SWITCH)で、各種の動作を切り替えます。

●動作切替スイッチ

番号	PARAM SWITCH	機能
1	ミュート連動スイッチ	ミュート連動切替機能
2	内蔵スピーカー切替スイッチ	内蔵スピーカー切替機能
3	内蔵マイク切替スイッチ	内蔵マイク切替機能
4	場内拡声スイッチ	場内拡声切替機能
5	残響除去スイッチ	残響除去切替機能
A	音響パラメータスイッチ	エコーキャンセラパラメータ切替機能
B		
C		



1: ミュート連動切替機能

ミュート連動スイッチ(動作切替スイッチ 1)で、カスケード接続時のミュート動作を切り替えることができます。

「ON」(連動):マイクミュートボタン(MUTE)で、全装置のミュートをON／ OFFできる。

「OFF」(非連動):マイクミュートボタン(MUTE)を操作した装置のミュートをON／ OFFできる。

お買い求め時は「ON」に設定されています。

2: 内蔵スピーカー切替機能

内蔵スピーカー切替スイッチ(動作切替スイッチ2)で、内蔵スピーカーのON／ OFFを切り替えることができます。

「ON」:内蔵スピーカー ON

「OFF」:内蔵スピーカー OFF

お買い求め時は「ON」に設定されています。

3: 内蔵マイク切替機能

内蔵マイク切替スイッチ(動作切替スイッチ3)で、内蔵マイクのON／ OFFを切り替えることができます。

「ON」:内蔵マイクON

「OFF」:内蔵マイクOFF

お買い求め時は「ON」に設定されています。

お知らせ

●ミュート連動切替機能は、拡張マイクもミュートされます。

4: 場内拡声切替機能

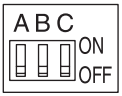
場内拡声スイッチ(動作切替スイッチ4)で、拡張マイクの音声入力を拡張スピーカーに出力する／しないを切り替えることができます。カスケード接続・未接続には関係なく切り替えられます。
「ON」：拡張マイクの音声入力を拡張スピーカーに出力する
「OFF」：拡張マイクの音声入力を拡張スピーカーに出力しない
お買い求め時は「OFF」に設定されています。

5: 残響除去切替機能

残響除去スイッチ(動作切替スイッチ5)で、マイクを通した音声に含まれる部屋の壁や床に跳ね返った音(残響音)の除去機能を切り替えることができます。
「ON」：残響音を除去する
「OFF」：残響音を除去しない
お買い求め時は「OFF」に設定されています。

A～C: エコーキャンセラパラメータ切替機能

音響パラメータスイッチ(動作切替スイッチA、B、C)で、エコーキャンセル機能・ノイズキャンセル機能の設定を切り替えることができます。



パラメータ番号	A	B	C	機能	説明
0	OFF	OFF	OFF	エコーキャンセラ(標準) ノイズキャンセラ(標準)	標準の設定です。お買い求め時はこちらの設定です。
1	ON	OFF	OFF	エコーキャンセラ(標準) ノイズキャンセラ(強)	ノイズキャンセル機能を強めた設定です。ノイズが気になるときに使用します。ただし主音声の音質が劣化することがあります。
2	OFF	ON	OFF	エコーキャンセラ(標準) ノイズキャンセラ(OFF)	ノイズキャンセル機能を無効にした設定です。静かな部屋で使用します。主音声の音質が向上することがあります。
3	ON	ON	OFF	エコーキャンセラ(弱) ノイズキャンセラ(標準)	エコーキャンセル機能を弱めた設定です。接続した通信機器(テレビ電話装置／ Web会議システムなど)のエコーキャンセラを利用するときに使用します。または主音声の音質を向上させたいときに使用できますがその場合エコーが十分キャンセルできないことがあります。
4	OFF	OFF	ON	エコーキャンセラ(弱) ノイズキャンセラ(強)	エコーキャンセル機能を弱めノイズキャンセル機能を強めた設定です。パラメータ3ではノイズが気になるときに使用します。ただし主音声の音質が劣化することがあります。
5	ON	OFF	ON	エコーキャンセラ(弱) ノイズキャンセラ(OFF)	エコーキャンセル機能を弱めノイズキャンセル機能を無効にした設定です。静かな部屋で使用します。主音声の音質が向上することがあります。
6	OFF	ON	ON	エコーキャンセラ(強) ノイズキャンセラ(強)	エコーキャンセル機能を強めノイズキャンセル機能を強めた設定です。エコーが気になるときに使用します。ただし主音声の音質が劣化することがあります。

7	ON	ON	ON	エコーキャンセラ(OFF) ノイズキャンセラ(OFF)	エコーキャンセル機能とノイズキャンセル機能を無効にした設定です。接続した通信機器(テレビ電話装置／ Web会議システムなど)のエコーキャンセラを利用するときに使用します。または主音声の音質を向上させたいときに使用できますがその場合エコーやノイズが十分キャンセルできないことがあります。

STOP お願い

●次のスイッチは電源を切ってから切り替えてください。
- ハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)
- ライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)
- ライン／マイクアウト切替スイッチ(LINE/MIC OUT MODE)
- 動作切替スイッチ(PARAM SWITCH) A ～ C

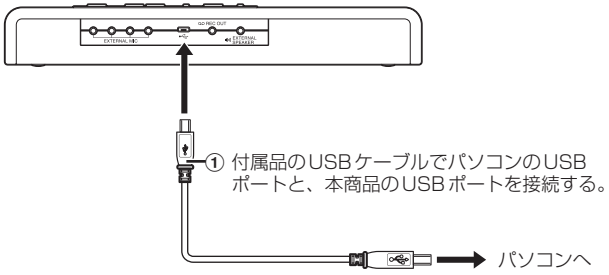
●次のスイッチは電源を切らなくても切り替え可能です。
- ハンドセット切替スイッチ(HANDSET SWITCH)
- 動作切替スイッチ(PARAM SWITCH) 1 ～ 5

お知らせ

●内蔵スピーカー OFFの場合は、拡張スピーカーを接続してください。

パソコンとUSB接続して使用する

パソコンのUSBポートと接続して、パソコンと本商品の間で音声を入出力します。



② 電源スイッチ(POWER)の「・」側を押して電源を入れる。

③ 電源投入後、接続確認をする。
「パソコンの設定を確認する(Windows 8/Windows 8.1)」(☛P29)
「パソコンの設定を確認する(Windows 7/Windows Vista)」(☛P30)

ワンポイント

●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは
適正な音量となるよう、パソコンのスピーカー音量を調整してください。
パソコンで調整できないときは、本商品のスピーカー音量を調整してください。(☛P20)
相手からの声の大きさはボリュームランプで確認できます。(☛P19)

●相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは
適正な音量となるよう、パソコンのマイク入力音量を調整してください。
パソコンで調整できないときは、相手のスピーカー音量を調節してください。

●パソコンとUSB接続したときの電源は
本商品はUSBからの給電で動作しますので、電源アダプタの接続や電池を入れる必要はありません。
電源アダプタを使用した場合は、電源アダプタからの供給電源で動作します。

●ソフトウェアエコーキャンセラまたは自動音量制御(AGC)機能が搭載されているWeb会議アプリケーションやVoIPソフトをお使いの場合は、本商品のエコーキャンセラが正常に動作しないことがあります。Web会議アプリケーションやVoIPソフトは、これらの機能をOFFに設定できるものをご利用のうえ、設定をOFFにしてお使いください。

STOP お願い

●パソコンを使用しての通話中は、パソコンをスタンバイ、スリープ、休止状態にしないでください。電源供給が行われず、本商品の電源が切れてしまう場合があります。

●USBケーブルはパソコン本体のUSBポートに接続してください。USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。

お知らせ

●本商品に電池を入れている場合は、本商品の電源が入っているときにパソコンの電源を切ると電池動作に切り替わり、電池が消耗します。

●パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIPソフトの操作については、使用するソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

●USBポートにはキャップが付いています。USB接続時は取り外し、使用後はキャップを取り付けてください。

パソコンの設定を確認する（Windows 8/Windows 8.1）

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows 8の通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

■設定の確認

1 **マウスカーソルを画面右端へ移動し、[設定]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。**

2 **[ハードウェアとサウンド]をクリックする。**

3 **[オーディオデバイスの管理]をクリックする。**

4 **[サウンド]の[再生]画面を確認する。**
[スピーカー R-Talk1500]が選択されていることを確認する。
[スピーカー USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。

5 **[サウンド]の[録音]画面を確認する。**
① [録音]タブをクリックする。
② [マイク R-Talk1500]が選択されていることを確認する。
[マイク USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。

お知らせ

●本商品を接続した際、Windows 8、Windows 8.1の設定によってはハウリングが発生し、スピーカーから大音量が流れる場合があります。
その場合には、次の操作を行ってください。
1. マウスカーソルを画面右端へ移動し、[設定]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックする
3. [オーディオデバイスの管理]をクリックする
4. [サウンド]の[録音]タブをクリックする
5. [マイク]の項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする
6. [マイク]の[プロパティ]画面で、[聴く]タブをクリックし、[このデバイスを聴く]のチェックを外す
7. [OK]をクリックする

パソコンの設定を確認する（Windows 7/Windows Vista）

以下の手順に従って、パソコンの設定を確認してください。ここでは、Windows 7の通常の画面イメージで説明しています。お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

■設定の確認

1 **[スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。**

2 **[ハードウェアとサウンド]をクリックする。**

3 **[オーディオデバイスの管理]をクリックする。**

4 **[サウンド]の[再生]画面を確認する。**

[スピーカー R-Talk1500]が選択されていることを確認する。
[スピーカー USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。

5 **[サウンド]の[録音]画面を確認する。**

① [録音]タブをクリックする。
② [マイク R-Talk1500]が選択されていることを確認する。
[マイク USB オーディオ デバイス]と表示される場合もあります。

お知らせ

●本商品を接続した際、Windows 7の設定によってはハウリングが発生し、スピーカーから大音量が流れる場合があります。
その場合には、次の操作を行ってください。
1. [スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックする
3. [オーディオデバイスの管理]をクリックする
4. [サウンド]の[録音]タブをクリックする
5. [マイク]の項目を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする
6. [マイク]の[プロパティ]画面で、[聴く]タブをクリックし、[このデバイスを聴く]のチェックを外す
7. [OK]をクリックする

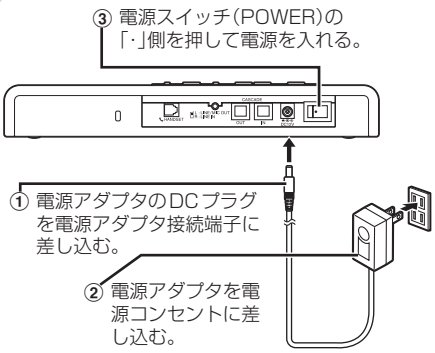
スマートフォンや携帯電話とBluetoothで接続して使用する

本商品は、Bluetoothによりスマートフォンや携帯電話と無線接続して、通信相手とハンズフリーで通話ができます。

Bluetooth機器とペアリング(登録)操作をする

Bluetoothを使用するためには、接続するスマートフォンや携帯電話とペアリング(登録)操作をする必要があります。接続するスマートフォンや携帯電話の操作については、スマートフォンや携帯電話の取扱説明書をご覧ください。ペアリング(登録)操作は初めに1回行えば良く、次からは接続操作(☛P32)のみで接続できます。

1 本商品の電源を入れる。



※電池で使用するときは、電源アダプタの接続手順(①、②)は必要ありません。

2 本商品のBluetoothペアリングボタン(Bluetooth)を長押し(約1秒)する。

Bluetoothランプが速い点滅に変わったら手順3へ進みます。

点滅(青)

3 スマートフォンや携帯電話で、ペアリング操作をする。

本商品のデバイス名は「R-Talk 1500」、パスキーはありません。
ペアリング操作は、本商品の近く(5 m以内)から行ってください。
また、本商品のペアリング待機時間は約1分間です。

4 ペアリングが完了すると、本商品とスマートフォンや携帯電話がBluetoothで接続され、Bluetoothランプが点灯する(スピーカーから"ピッ、ピッ・・・・・(7回)"が聞こえます)。

点灯(青)

ワンポイント

●ペアリング操作を中止するには
手順2、3で本商品の電源を切ります。

お知らせ

●本商品とBluetoothで接続できる機器は1台のみです。

●Bluetooth接続中にスマートフォンや携帯電話に電話がかかってきた場合は、本商品のスピーカーから呼出音が聞こえることがあります。

●パスキーは「なし」に設定されています。

●本商品に接続可能なBluetooth機器のバージョンは、Bluetooth 3.x 以上です。それ以前のバージョンではご使用の機器によっては接続できない場合があります。その場合は、ケーブルで接続して使用してください。(☛P33)

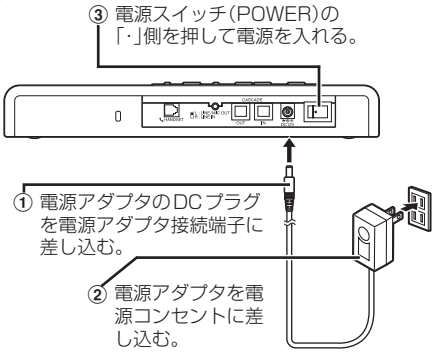
●接続状態で相手から切断された場合、約10分間はBluetoothペアリングボタン(Bluetooth)を押さなくても相手の機器から再接続が可能です。
この時、Bluetoothペアリングボタン(Bluetooth)を長押しすると一度この接続可能状態を解除する動作となります。ペアリング・接続を行うためには、再度Bluetoothペアリングボタン(Bluetooth)の長押しが必要です。

Bluetooth機器と接続する／切断する

スマートフォンや携帯電話の操作については、スマートフォンや携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

■接続する

1 **本商品の電源を入れる。**



※電池で使用するときは、電源アダプタの接続手順(①、②)は必要ありません。

2 **本商品のBluetoothペアリングボタン(Bluetooth)を長押し(約1秒)する。**

3 **スマートフォンや携帯電話から、Bluetoothで本商品に接続する。**

本商品のデバイス名は「R-Talk 1500」です。

本商品とスマートフォンや携帯電話がBluetoothで接続されると、Bluetoothランプが点灯します(スピーカーから"ピッ、ピッ、・・・・・(7回)"が聞こえます)。

Bluetooth 点灯(青)

ワンポイント

●初めて利用するBluetooth機器と接続するには
ペアリング(登録)が必要です。(☛P31)

●ハンズフリーで通話するには
スマートフォンや携帯電話で通信相手と接続し、本商品に向かって会話をします。

お知らせ

●ご利用になるスマートフォンや携帯電話の種類によっては、Bluetooth接続機器への切替操作をスマートフォンや携帯電話側にて実施していただく必要があります。

■切断する

1 **スマートフォンや携帯電話から、Bluetoothを切断する。**

Bluetoothランプが消灯します。

お知らせ

●電波環境によっては、通話にノイズが発生することがあります。

●スマートフォンや携帯電話と本商品のBluetooth接続を切断しても、約10分間以内であればスマートフォンや携帯電話からの接続操作で接続できます。約10分間、接続操作をしないとBluetoothの接続はできなくなります。このようなときは一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。

●スマートフォンや携帯電話は本商品の近く(5 m以内)で使用してください。

●スマートフォンや携帯電話と本商品がBluetoothの到達距離(約5 m)以上離れた場合、音声が途切れたりBluetooth接続が切断される場合があります。このようなときは一度本商品の電源を切り、初めから操作をやり直してください。

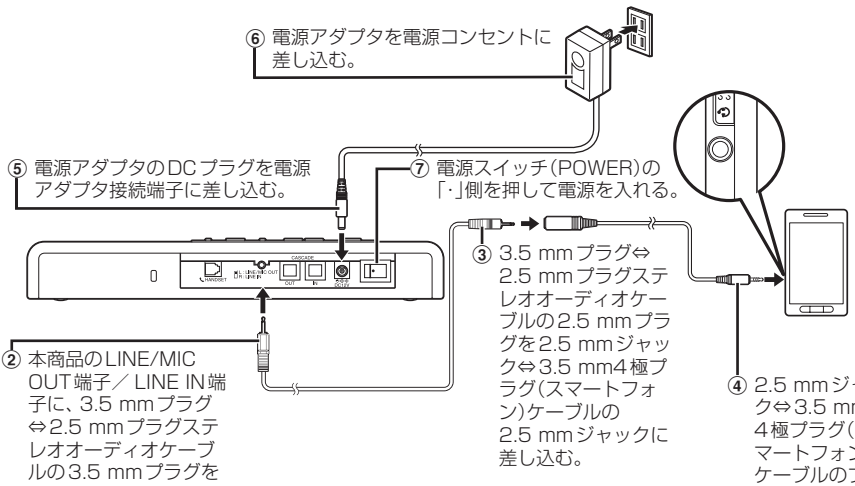
●周囲の環境によっては、スマートフォンや携帯電話と本商品の距離が5 m以内であっても通話が途切れることがあります。このようなときは、スマートフォンや携帯電話と本商品をできるだけ近づけてご使用ください。

●Bluetooth接続中にスマートフォンや携帯電話に電話がかかってきた場合は、本商品のスピーカーから呼出音が聞こえることがあります。

スマートフォンや携帯電話とケーブルで接続して使用する

オプションのR-Talk用携帯電話ケーブルセット(☛P10)が必要です。ご利用のスマートフォンや携帯電話に合わせてケーブルの種類を選択してください。

① ライン／マイクアウト切替スイッチを「MIC」に設定する。



※電池で使用するときは、電源アダプタの接続手順(⑤、⑥)は必要ありません。

※携帯電話の「イヤフォンマイク」の設定がイヤフォンマイク利用可能になっているか確認してください。

⑧ スマートフォンや携帯電話でダイヤルし、通信相手と接続する。

⑨ 本商品に向かって会話をする。

ワンポイント

●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは

適正な音量となるよう、スマートフォンや携帯電話の受話音量を調整してください。スマートフォンや携帯電話で調整ができない場合は、スピーカー音量を調整してください。(☛P20)
相手からの声の大きさはボリュームランプで確認できます。(☛P18)

●相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは

底面のライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)を切り替えてください。(☛P22)

STOP お願い

●携帯電話ケーブルは、コネクタの向きに合わせて確実に接続してください。

●スマートフォンや携帯電話は、本商品から1 m以上離してください。スマートフォンや携帯電話と本商品が近いと、雑音が入ることがあります。

お知らせ

●ご利用になるスマートフォンや携帯電話の機種によっては、別途変換コネクタが必要になる場合があります。

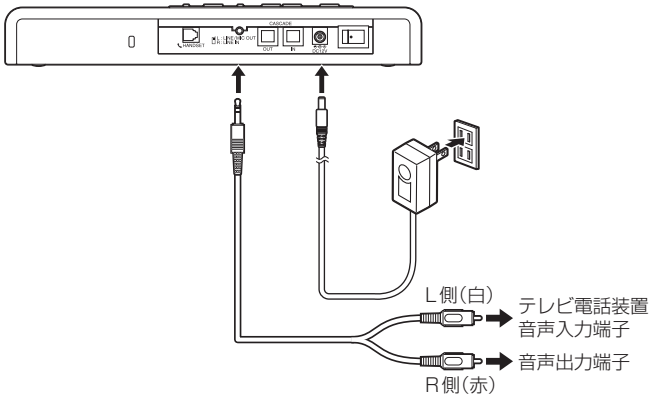
●ご利用になるスマートフォンや携帯電話によっては、エコーが発生することがあります。

●対応しているスマートフォンや携帯電話については、
"http://www.ntt-at.co.jp/product/rt1500/correspondence.html"をご参照ください。

テレビ電話装置とケーブルで接続して使用する

接続に必要なステレオオーディオケーブルは、お客様でご用意ください。
また、テレビ電話装置の端子がRCA ピンの場合は、3.5 mmプラグ⇔RCAピン変換ステレオオーディオケーブルをお客様でご用意ください。

＜例＞ テレビ電話装置の端子がRCAピンの場合
テレビ電話装置の電源を切った状態で行ってください。



① 本商品のLINE/MIC OUT端子／ LINE IN端子とテレビ電話装置の音声入出力端子を3.5 mmプラグ⇔テレビ電話装置の端子と適合するプラグのステレオオーディオケーブルで接続する。
ケーブルはお客様でご用意ください。

② RCAピンのL側(白)をテレビ電話装置の音声入力端子に接続し、RCAピンのR側(赤)をテレビ電話装置の音声出力端子に接続する。

③ テレビ電話装置の音声入力端子に合わせて底面のライン／マイクアウト切替スイッチ(LINE/MIC OUT MODE)を切り替える。
・音声入力端子がマイク入力端子のときは「MIC」に切り替えます。お買い求め時は「MIC」に設定されています。
・音声入力端子がライン入力端子のときは「LINE」に切り替えます。

④ 電源アダプタのDCプラグを電源アダプタ接続端子に差し込む。

⑤ 電源アダプタを電源コンセントに差し込む。

⑥ 電源スイッチ(POWER)の「・」側を押して電源を入れる。

テレビ電話装置を接続した場合も、電話機、パソコンを同時に接続できます。
※電池で使用するときは、電源アダプタの接続手順(④、⑤)は必要ありません。

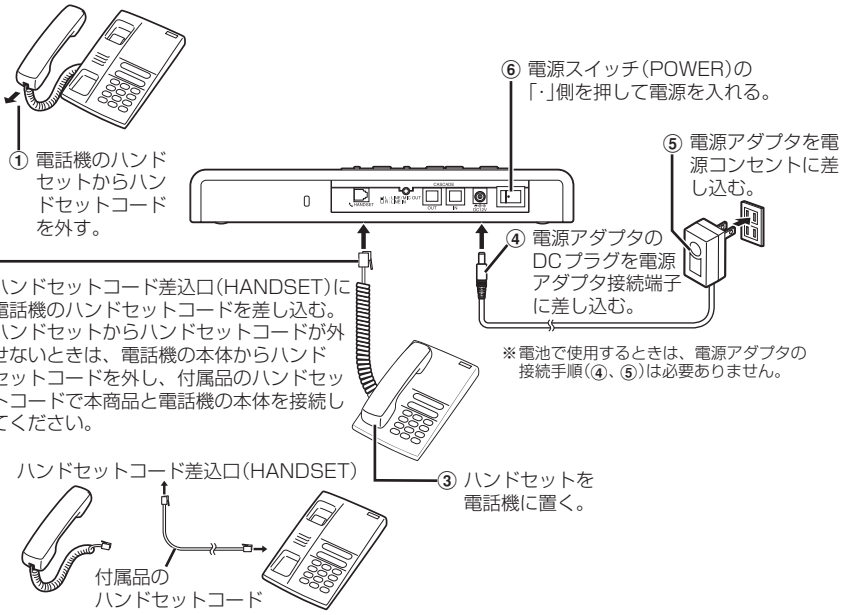
ワンポイント

●マイクの収音範囲を設定するには(☛P39)

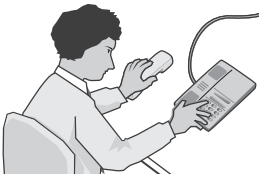
●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは
適正な音量となるよう、テレビ電話装置の音声出力レベルを調整してください。

●相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは
・手順③で、ライン／マイクアウト切替スイッチ(LINE/MIC OUT MODE)をテレビ電話装置の音声入力端子に合わせて切り替えているかご確認ください。
・底面のライン／マイクアウトレベルスイッチ(LINE/MIC OUT VOLUME)を切り替えてください。(☛P22)

電話機と接続して使用する



⑦ 電話機のハンドセットを外してダイヤルし、通信相手と接続する。



⑧ 本商品に向かって会話をする。

ワンポイント

●相手からの声が大きすぎる、または小さすぎるときは

適正な音量となるよう、電話機の受話音量を調整してください。電話機で調整ができない場合は、スピーカー音量を調整してください。(☛P20)

相手からの声の大きさはボリュームランプで確認できます。(☛P18)

●相手側から声が大きすぎる、または小さすぎると言われるときは

底面のハンドセットアウトレベルスイッチ(HANDSET OUT VOLUME)を切り替えてください。(☛P22)

お知らせ

●ハンドセットを電話機に置いたままでは、使用しないでください。

●接続する電話機は、NS-A1／NS-A2(発売元　株式会社ナカヨ)を推奨します。NS-A1／NS-A2以外の電話機を接続した場合の動作保証はしていません。

使用方法

ハンズフリーで通話する

■会議を行う

1 **通信相手と接続する。**
パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIPソフト、テレビ電話装置、スマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機を操作して、通信相手と接続します。

2 **本商品に向かって会話する。**
マイクから3 m程度離れていても十分な音量で収音しますので、マイクを気にせずに通話できます。

3 **通話が終わったら、通信を切断する。**

STOP お願い

●パソコンを使用しての通話中は、パソコンをスタンバイ、スリープ、休止状態にしないでください。

お知らせ

●パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIPソフトの操作については、使用するソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
●テレビ電話装置の設定および操作については、テレビ電話装置の取扱説明書を参照してください。
●パソコンのスピーカーがミュートに設定されていると、音声が聞こえません。ミュートを解除してください。
●パソコンのマイク入力音量の設定で、パソコンのマイクがミュートに設定されていると、こちらの声が相手に聞こえません。ミュートを解除してください。
●ご利用になる携帯電話によっては、エコーが発生することがあります。

より快適なハンズフリー通話のために

● **カーテンなどの吸音対策**
ハンズフリー通話を行う部屋の響きが大きい場合は、壁面にカーテンを配するなどの吸音対策をすると、明瞭度も向上し、快適な通話が行えます。

● **音量調整の注意点(ヘッドセットでの参加者がいる場合)**
ヘッドセットを使用すると、お話しする人の口元とマイクの距離が近いために過大入力になりがちです。ヘッドセットを使用する参加者(ヘッドセット拠点)とマイク、スピーカーを使用する参加者(拡声拠点)が混在する場合は、最初に拡声拠点同士で適正な音量に調整してから、ヘッドセット拠点の音量を拡声拠点に合わせるように調整してください。
拡声拠点が1拠点の場合は、拡声拠点とヘッドセット拠点で通話し、拡声拠点優先で音量調整をしてから、ヘッドセット拠点の音量を拡声拠点に合わせるように調整してください。

■3地点で会議を行う

本商品に電話機とスマートフォンや携帯電話を接続して、3地点電話会議を実施できます。

1 **通信相手と接続する。**

① 電話機を操作して、通信相手と接続します。(☛P35)
② スマートフォンや携帯電話を操作して、通信相手と接続します。(☛P31)

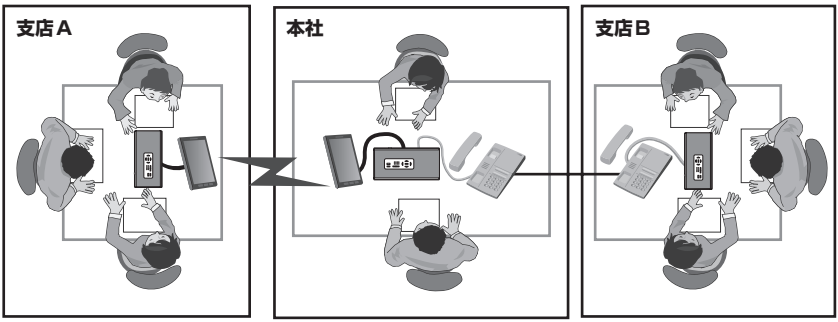
2 **本商品に向かって会話する。**

マイクから3 m程度離れていても十分な音量で収音しますので、マイクを気にせずに通話できます。

3 **通話が終わったら、通信を切断する。**

電話機とスマートフォンや携帯電話の両方の通信を切断します。

4 **本商品の電源を切る。**



お知らせ

●本商品にパソコン、スマートフォン、携帯電話、電話機を接続して、5地点での同時接続も可能です。

■電話会議とWeb会議を混在した会議を行う

本商品にパソコンやスマートフォンや携帯電話、電話機を接続して、電話会議とWeb会議を混在させた会議を実施できます。

1 **通信相手と接続する。**

①パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIPソフトを操作して、通信相手と接続します。(☛P28)
②電話機を操作して、通信相手と接続します。(☛P35)
③スマートフォンや携帯電話を操作して、通信相手と接続します。(☛P31)

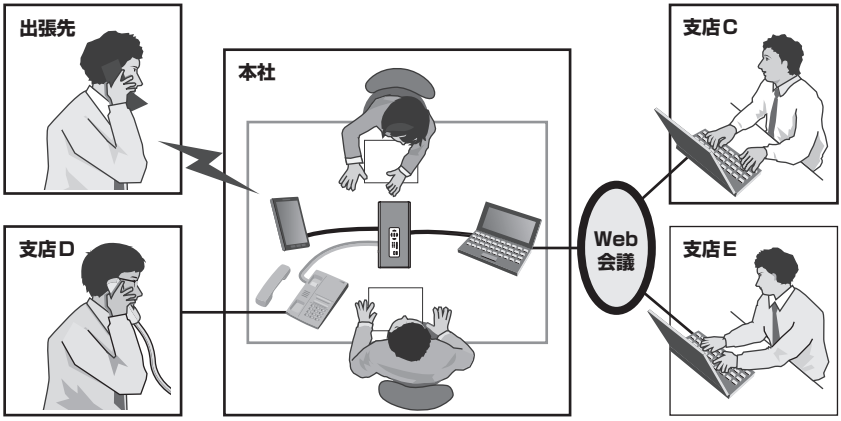
2 **本商品に向かって会話する。**

マイクから3 m程度離れていても十分な音量で収音しますので、マイクを気にせずに通話できます。

3 **通話が終わったら、通信を切断する。**

パソコンのWeb会議システム、電話機、スマートフォンや携帯電話の通信のそれぞれを切断します。

4 **本商品の電源を切る。**



STOP お願い

●本商品をリング状に多地点接続すると、ハウリング(ピーと大きな音が鳴る)を生じますのでおやめください。

マイクの収音範囲を設定する

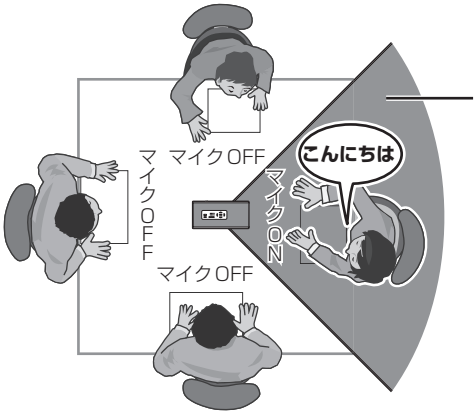
マイクモード切替ボタン(MIC MODE)で、「AUTO」(自動追尾モード)か「MANUAL」(手動設定モード)に切り替えることができます。
また、マイクモード切替ボタン(MIC MODE)を「MANUAL」(手動設定モード)に切り替えたときは、収音範囲設定ボタンによりマイクを「ON」/「OFF」して収音範囲を設定することができます。

＜マイクモードとマイクの収音範囲について＞

マイクモードの切り替えは、通話中でも可能です。
お買い求め時は「AUTO」(自動追尾モード)に設定されています。

●「AUTO」(自動追尾モード)

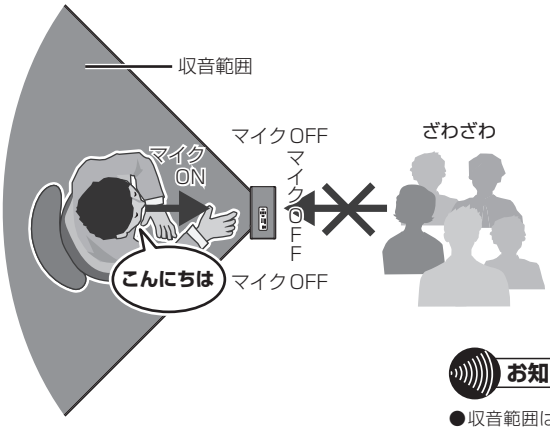
収音範囲設定ボタンによるマイクの「ON」/「OFF」にかかわらず、お話している人の方向に合わせて自動的に収音範囲が設定されます。「AUTO」(自動追尾モード)では、収音範囲設定ボタンによるマイクの「ON」/「OFF」はできません。



話している人がいる方向のマイクのみONになり、他のマイクはOFFになります。
話している人の位置に応じてマイクONになる位置が変わります。

●「MANUAL」(手動設定モード)

収音範囲設定ボタンによりマイクを「ON」/「OFF」して収音範囲を設定します。マイクミュート中はマイクの「ON」/「OFF」はできません。

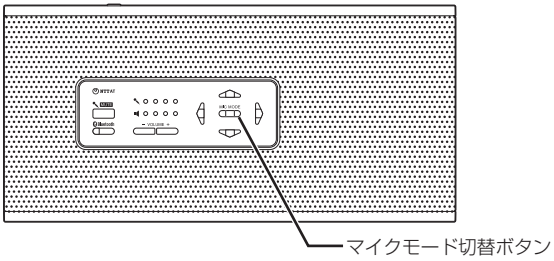


お知らせ

●収音範囲は一例を示します。収音範囲外でも多少収音します。

■マイクモードを切り替える

マイクモード切替ボタン(MIC MODE)を押し、マイクモードを切り替えます。
「AUTO」(自動追尾モード)　　：緑点灯
「MANUAL」(手動設定モード)：消灯

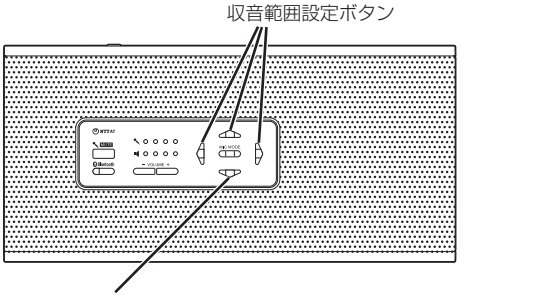


STOP お願い

●本商品を複数台接続している場合は、マイクモードの切り替えは親機で行ってください。

■収音範囲を設定する

「MANUAL」(手動設定モード)に切り替え、収音範囲設定ボタン(4個)により各方向のマイクを「ON」/「OFF」して収音範囲を設定します。



① 収音範囲設定ボタンを押す。
　マイクモードランプが消灯し、マイクが「OFF」になります。
② もう一度収音範囲設定ボタンを押す。
　マイクモードランプが点灯(緑)し、マイクが「ON」になります。

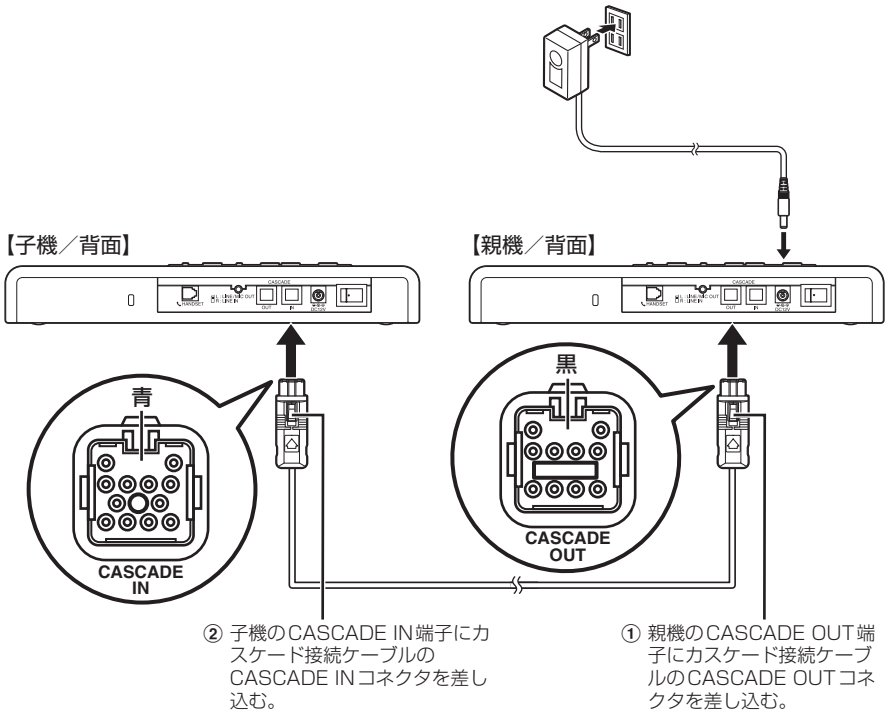
お知らせ

●お買い求め時は、4つの方向のマイクは「ON」です。
●4つの方向のマイクの内、「OFF」にできるのは3つまでです。
●マイクミュート中はマイクの「ON」/「OFF」はできません。
●本商品の電源を切ってもマイクの「ON」/「OFF」は保持されます。

複数台を接続して使う

複数台の本商品をオプションのカスケード接続ケーブルで接続することができます。最大6台まで接続できます。
接続の1台目(CASCADE IN端子を使用していない)を親機、それに追加して接続する残りの本商品は子機と呼びます。なお、子機と親機では一部設定が異なります。

■複数台をカスケード接続する



③ さらに子機を増やす場合は、子機のCASCADE OUT端子と、新たな子機のCASCADE IN端子をカスケード接続ケーブルで接続する。
④ 電源アダプタのDCプラグを電源アダプタ接続端子に差し込む。
⑤ 電源アダプタを電源コンセントに差し込む。
⑥ 親機の電源スイッチ(POWER)の「・」側を押して電源を入れる。
⑦ 子機の電源スイッチ(POWER)の「・」側を押して電源を入れる。

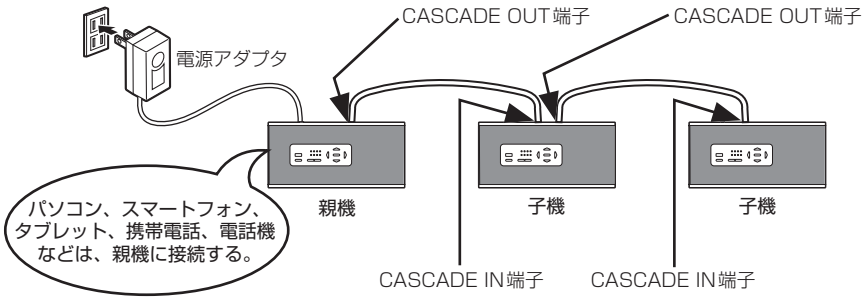
お知らせ

- 電源アダプタは、親機と4台目(子機3台目)に接続してください。
- カスケード接続ケーブルのコネクタには向きがあります。CASCADE OUT端子やCASCADE IN端子と、カスケード接続ケーブルのコネクタの向きを合わせて接続してください。
- カスケード接続ケーブルのコネクタは、CASCADE OUT端子やCASCADE IN端子に奥まで確実に差し込んでください。
- 本商品を複数台カスケード接続し、かつミュート連動切替機能が「ON」(連動)の場合は、親機または子機のマイクミュートボタン(MUTE)を押すと、親機とすべての子機がマイクミュートします。元に戻すには、もう一度親機または子機のマイクミュートボタン(MUTE)を押します。
- カスケード接続後及び電源投入後、約6秒間は、子機のマイクミュートボタン(MUTE)は無効になります。6秒以上経ってから操作をしてください。
- 親機が電池もしくはUSB給電の場合、カスケード動作はしませんので、電源アダプタ給電をしてください。

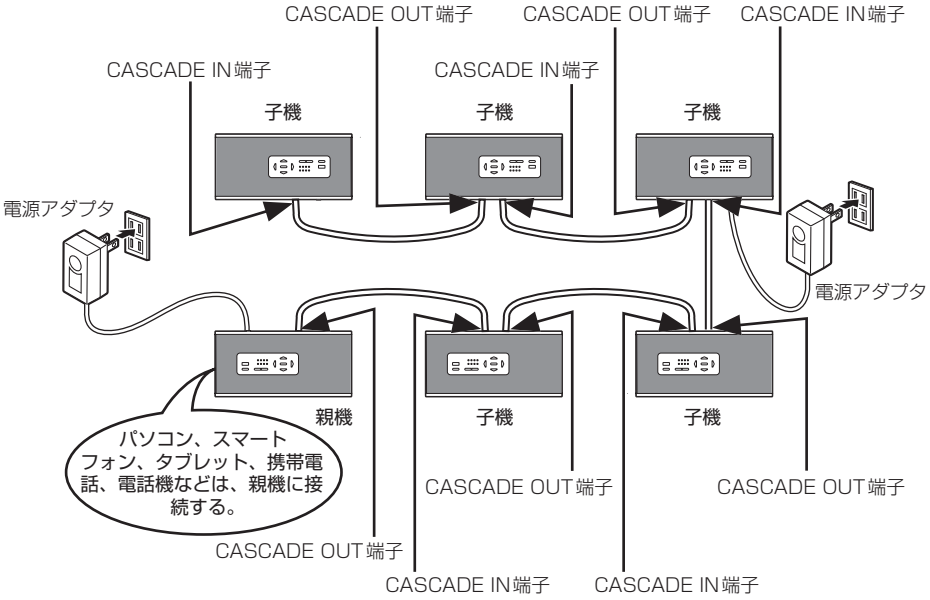
●電源アダプタは、親機を含め本商品３台まで電源を供給できます。

親機を含め本商品を４台以上接続するときは、電源アダプタを２個用意し、電源アダプタを親機と４台目の本商品に接続してください。

本商品を３台接続した場合



本商品を６台接続した場合



STOP お願い

- ●カスケード接続ケーブルを無理に引っ張ったり、コネクタを無理に差し込んだりしないでください。
- ●電源を入れるときは、親機の電源を入れてから子機の電源を入れてください。
- ●本商品をリング状にカスケード接続すると、ハウリング(ピーと大きな音が鳴る)を生じますのでおやめください。
- ●カスケード接続しない場合、カスケード接続ケーブルを本体に差したままにしないでください。
- ●親機を含め本商品を３台以上でご利用になる場合、電源アダプタは、本商品３台につき１個で動作可能ですが、接続環境・接続条件によっては、動作しないことがあります。この場合は、２台に１個電源アダプタを接続してください。

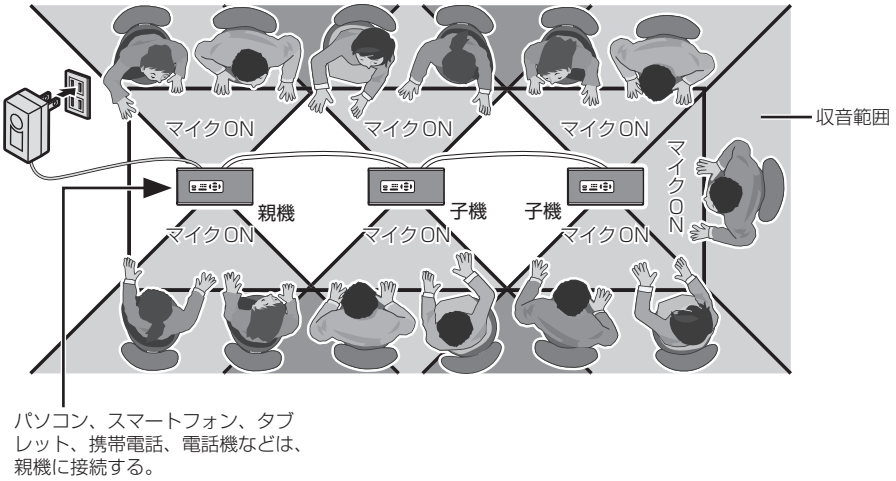
複数台を設置するときの注意点

●カスケード接続ケーブルで接続されているすべての本商品が同じマイクモードで動作します。マイクモードの切り替えは、親機のマイクモード切替ボタン(MIC MODE)(☛P14)で行ってください。

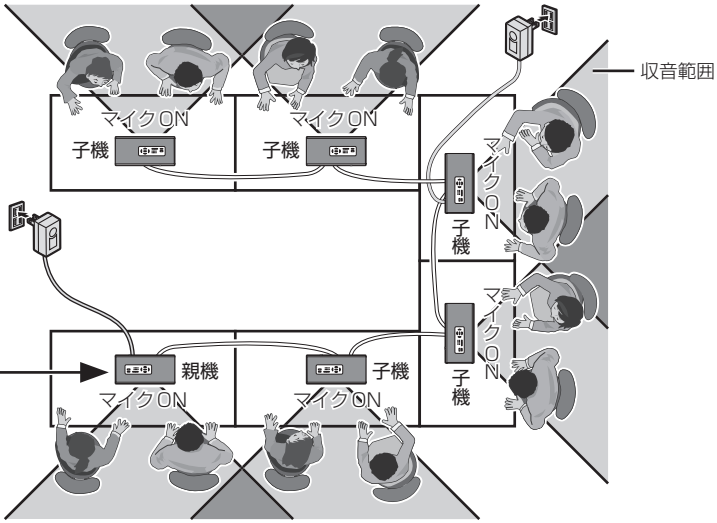
●使いかたによってハウリング(ピーと大きな音が鳴る)が発生することがあります。必ず以下の点に注意してご利用ください。

・本商品間の距離を3 m 以上離してください。
・ハウリング(ピーと大きな音が鳴る)が発生しないスピーカー音量で使用してください。部屋の響きの大きさによっては、十分なスピーカー音量が出せない場合があります。

長机に設置する場合



コの字に設置する場合



パソコン、スマートフォン、タブレット、携帯電話、電話機などは、親機に接続する。

お知らせ

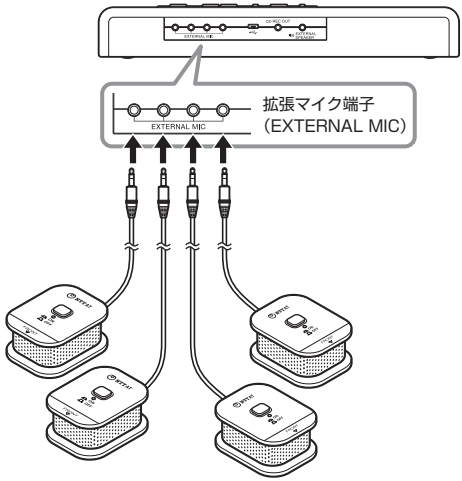
●収音範囲は一例を示します。収音範囲外でも多少収音します。

拡張マイクを接続して使う

多人数での会議など、本体の内蔵マイクで収音が十分できないときは、拡張マイクを接続してください。拡張マイクを接続した場合も本体の内蔵マイクは収音します。

■拡張マイクを接続する

拡張マイクは、1個付属しています。本商品の拡張マイク端子(EXTERNAL MIC)に接続してください。
最大4個まで接続でき、どの拡張マイク端子(EXTERNAL MIC)に接続しても動作します。2個以上の拡張マイクが必要なときは、お買い求めになった販売店でオプション品をお買い求めください。

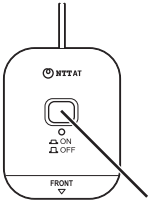


お知らせ

- 本商品に付属しております拡張マイクは、R-Talk 800EX/PCでも使用できます。ただし、拡張マイクのマイクボタンはご利用できません。
- R-Talk 800EX/PCの拡張マイクは、R-Talk 1500でも使用できます。
- 拡張マイクのケーブルを拡張マイクの周りに巻きつけて保管することができます。

■拡張マイクをON／OFFする

拡張マイクのマイクボタンを「OFF」にして、音声入力ができないようにすることができます。



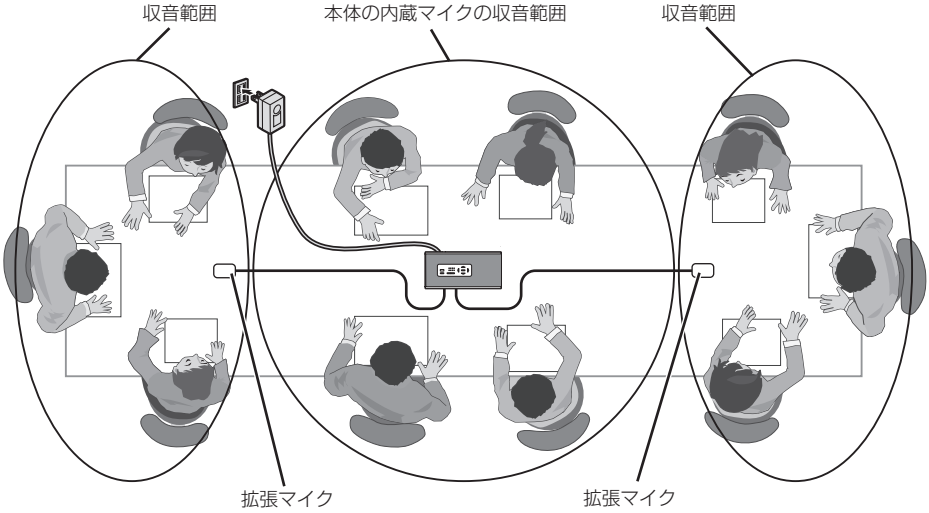
マイクボタン

① 拡張マイクのマイクボタンを押して、「OFF」にする。

② 元に戻すには、もう一度拡張マイクのマイクボタンを押して、「ON」にする。

■拡張マイクの収音範囲

拡張マイクの収音範囲は、前方約180°、約3ｍです。



お知らせ

- 拡張マイク使用時は、マイクボタンのON／OFF状態を確認してください。
- マイクモードの設定にかかわらず、拡張マイクをミュートとすることができます。
- 拡張マイクのマイクボタンを「OFF」にした場合、本体の内蔵マイクおよびその他の拡張マイクはミュートされません。マイクボタンを「OFF」した拡張マイクのみミュートされます。
- ミュート連動切替機能が「ON」（連動）の場合は、本体（親機・子機）のマイクミュートボタン（MUTE）ですべての拡張マイクもミュートできます。

STOP お願い

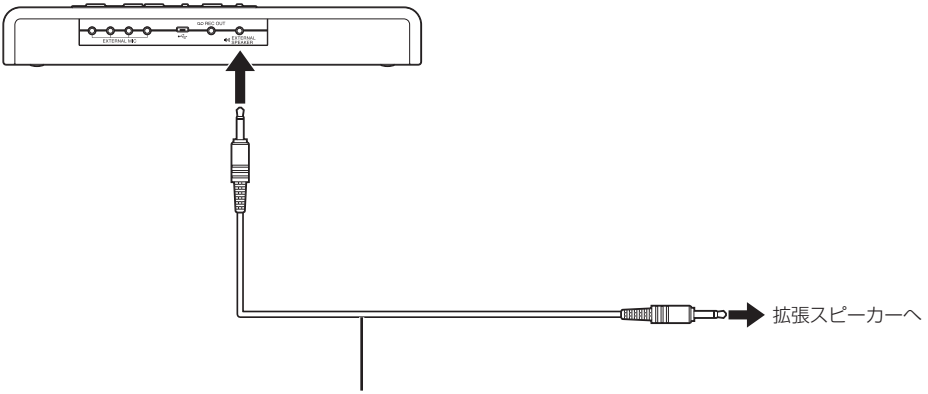
- ［FRONT］を話者に向けてお話しください。

拡張スピーカーを接続して使う

本商品の拡張スピーカー端子(EXTERNAL SPEAKER)に拡張スピーカーを接続することにより、スピーカーを1台増設することができます。
市販の拡張スピーカー用オーディオケーブルをご用意ください。

■拡張スピーカーを接続する

拡張スピーカーは、本商品の拡張スピーカー端子(EXTERNAL SPEAKER)に接続してください。



① 本商品の拡張スピーカー端子(EXTERNAL SPEAKER)と拡張スピーカーを拡張スピーカー用オーディオケーブルで接続する。

お知らせ

- 拡張スピーカーの音量は、拡張スピーカーのボリュームで調整してください。
- 接続可能な拡張スピーカーは、下記のようなものがあります。
  - ・ONKYO　パワードスピーカー GXシリーズ
  - ・YAMAHA　MSP5
  - ・YAMAHA　MSP3
  - ・YAMAHA　MS101 Ⅲ
- 拡張スピーカー用オーディオケーブルは、市販のモノラルオーディオケーブル(3.5 mmプラグ⇔拡張スピーカーの端子と適合するプラグ)をご用意ください。3.5 mmプラグのステレオオーディオケーブルも使用可能ですが、音声出力はモノラルです。(GND/Rch(音声出力) /Lch(音声出力))

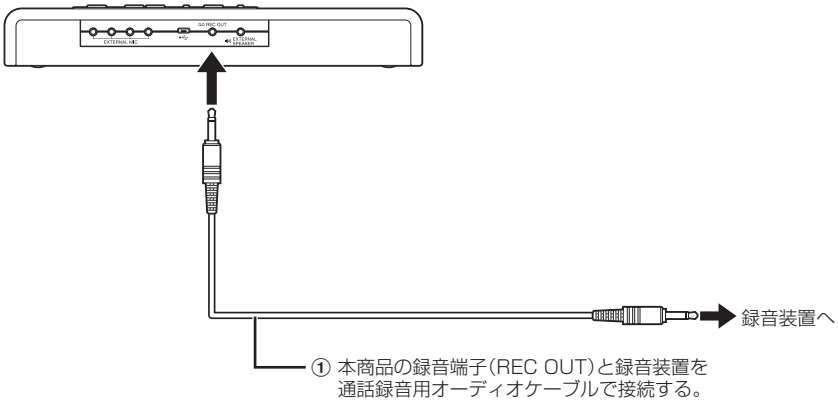
STOP お願い

- 拡張マイクとスピーカーを近づける、または拡張スピーカーとマイクを近づけると、ハウリング(ピーと大きな音が鳴る)を生じますのでおやめください。
- 拡張スピーカーをご利用される場合は、下記手順で行ってください。
  電源「入」時：オーディオケーブルを接続し、本商品の電源を「入」後、拡張スピーカーの電源を「入」にしてください。
  電源「切」時：拡張スピーカーの電源「切」後、本商品の電源を「切」にしてください。

通話を録音する

本商品の録音端子(REC OUT)に録音装置を接続することにより、通話を録音することができます。
市販の通話録音用オーディオケーブルをご用意ください。

■録音装置を接続する



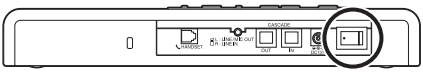
② 通話を録音するときは、録音装置側で録音の操作を行う。

お知らせ

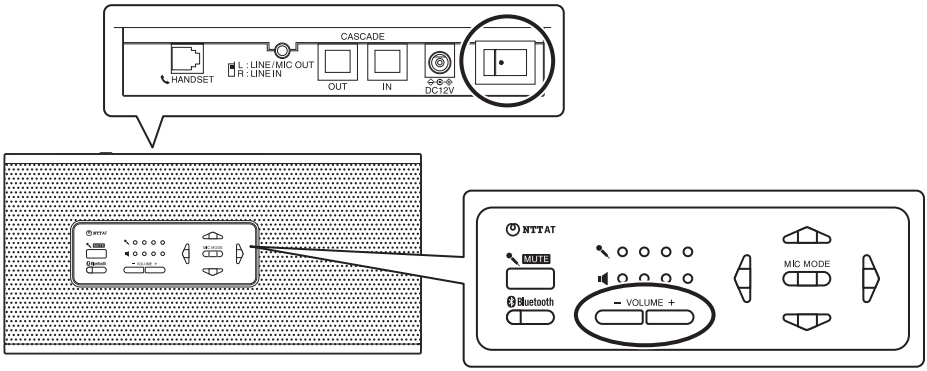
- 通話録音用オーディオケーブルは、市販のモノラルオーディオケーブル(3.5 mmプラグ⇔録音装置の端子と適合するプラグ)をご用意ください。3.5 mmプラグのステレオオーディオケーブルも使用可能ですが、音声出力はモノラルです。(GND/Rch(OPEN) /Lch(音声出力))
- 本商品を複数台カスケード接続している場合は、親機の録音端子(REC OUT)に録音装置を接続してください。

お買い求め時の設定に戻す（初期化）

マイクモードと収音範囲設定ボタンの「ON」/「OFF」をお買い求め時の設定に戻します。
●マイクモード（初期値）：「AUTO」
●収音範囲設定ボタン（初期値）：すべて「ON」



① 本商品の電源を切る。



② スピーカー音量調整ボタン（ボリュームUPボタン（VOLUME ＋）とボリュームDOWNボタン（VOLUME －））を押しながら電源スイッチ（POWER）の「・」を押して電源を入れる。
ボリュームランプが点滅（紫）、エリア収音ランプが点滅（橙）するまで、スピーカー音量調整ボタンを押したまま待ちます。

●お買い求め時のスイッチの位置

・LINE/MIC OUT MODE：「MIC」
・HANDSET OUT VOLUME：「3」
・LINE/MIC OUT VOLUME：「3」
・HANDSET SWITCH：「A、0」
・PARAM SWITCH：「1:ON 2:ON 3:ON 4:OFF 5:OFF A:OFF B:OFF C:OFF」

お知らせ

●電池やUSB給電の場合でも、お買い求め時の設定に戻す操作をすることができます。

ファームアップ機能

本商品は、ソフトの機能アップやお客様のご要望に応じたカスタマイズを実現するため、ファームウェアのバージョンアップができます。
詳細は、弊社ホームページ("http://www.ntt-at.co.jp/product/ec/")を参照してください。

仕様

項　目	仕　様
USB	USB2.0フルスピード／ AC97準拠
LINE IN	φ3.5 mmステレオミニジャック （ラインアウト、マイクアウトと兼用） 入力インピーダンス30kΩ以上
LINE/MIC OUT	φ3.5 mmステレオミニジャック （ラインイン、マイクアウトと兼用） 出力インピーダンス150 Ω以上
REC OUT	φ3.5 mmミニジャック 出力インピーダンス150 Ω以上
EXTERNAL SPEAKER	φ3.5 mmミニジャック 出力インピーダンス150 Ω以上
Bluetooth送受信	HFP(1.6) /HSP対応、到達距離 約5 m
Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.3.0+EDR Class2
EXTERNAL MIC	φ3.5 mmミニジャック×4
HANDSET	4ピンモジュラジャック(RJ-10)
マイク	本体に内蔵(単一指向性マイク×3個)
スピーカー	本体に内蔵(最大音量87 dB)
周波数帯域	100 Hz～ 14 kHz
エコー消去時間	128 ms
安全規格	VCCI クラスB PSE対応 RoHS指令準拠
使用電源	AC100 V～ 240 V(50／ 60 Hz) (専用電源アダプタ使用)
	USB 5 V 500 mAmax
	単3形アルカリ乾電池4本または単3形ニッケル水素電池4本 120分以上動作可能(新品または満充電)
消費電力	最大18 W(専用電源アダプタ使用時)
外形寸法	R-Talk 1500：約295 mm(W) ×約141 mm(D) ×約41 mm(H) RT-OPT-MIC2：約45 mm(W)×約59 mm(D) ×約24 mm(H)
質量	R-Talk 1500：約1.0 kg RT-OPT-MIC2：約60 g
使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃ 湿度：20 %～ 80 %(結露しないこと)
ファームアップ	パソコン(USB)より実施

項　目	仕　様
対応OS(日本語版、英語版、中国語版)	• Windows Vista Home Basic(32 bit) Windows Vista Home Premium(32 bit) Windows Vista Business(32 bit) Windows Vista Ultimate(32 bit) • Windows 7 Starter(32 bit) Windows 7 Home Premium(32/64 bit) Windows 7 Professional(32/64 bit) Windows 7 Ultimate(32/64 bit) • Windows 8(32/64bit) Windows 8 Pro(32/64bit) Windows 8 Enterprise(32/64bit) • Windows 8.1(32/64bit) Windows 8.1 Pro(32/64bit) Windows 8.1 Enterprise(32/64bit)

NTTアドバンステクノロジ株式会社

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミューザ川崎セントラルタワー
TEL：0120-057-601　FAX：0120-057-602
e-mail：realtalk@ml.ntt-at.co.jp
URL：http://www.ntt-at.co.jp/product/ec/

F-6280-1

光技術をサポートする
株式会社 オプトサイエンス
http://www.optoscience.com
東京本社 〒160-0014　東京都新宿区内藤町１番地　内藤町ビルディング
TEL:03(3356)1064 FAX:03(3356)3466 E-mail:info@optoscience.com